



西山とき子参議院議員とともに12人勢ぞろい

- 松尾 孝 議員団長  
農林商工常任委員  
少子高齢社会・青少年対策特別委員
- 新井 進 議員団幹事長  
議会運営委員会理事  
総務常任委員  
産業雇用活性化特別委員
- 梅木 紀秀 議員団副団長  
議会運営委員  
建設常任委員  
京都再生・ブランド戦略特別委員
- 前窪義由紀 議員団副幹事長  
議会運営委員  
警察常任委員  
環境・防災対策特別委員
- 島田 敬子 文教常任委員  
総合交通対策特別委員
- 加味根史朗 総務常任委員  
少子高齢社会・青少年対策特別委員
- 光永 敦彦 厚生労働常任委員  
地方行政改革特別委員会副委員長
- 本庄 孝夫 文教常任委員  
地方行政改革特別委員
- 原田 完 農林商工常任委員  
京都再生・ブランド戦略特別委員
- 久守 一敏 建設常任委員  
総合交通対策特別委員
- 山内 佳子 警察常任委員  
環境・防災対策特別委員
- 西脇 郁子 厚生労働常任委員  
産業雇用活性化特別委員



硫酸ピッチ不法投棄の現場を調査



13万人をこえる教育署名をこける



## イラクへの自衛隊派兵中止を

日本共産党京都府会議員団

# 府会だより

11月 定例議会  
2003年11月27日  
12月12日

編集・発行／日本共産党京都府会議員団  
〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入 京都府議会内  
075(414)5566 075(431)2916  
e-mail giindan@cp-kyotofukai.gr.jp  
発行責任者／榎井 義行

January 2004 No.281

今年を 府民のみなさんの暮らしと平和を守る年に

## 日本共産党府会議員団、全力でがんばります。

十二名の日本共産党府会議員団は、イラクへの自衛隊派兵や消費税増税計画、年金制度の改悪に反対するとともに、介護保険や子どもの医療費助成、青年の雇用対策、住宅改修助成、伝統産業振興、農山村振興、少人数学級実現など、府民の暮らしを守る要求をもとに、その実現めざしてがんばってきました。

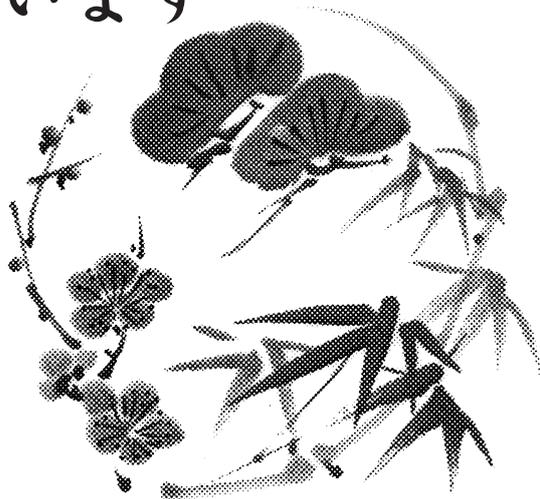
全国初の硫酸ピッチ規制条例は、住民の切実な願いと日本共産党議員団の一貫した追及が実ったものです。また、府教委が「少人数学級も選択して実施する」と答えざるをえなくなるなど、新たな前進への道が開かれました。

日本共産党議員団は、南丹ダムについて畑川ダムの中止や丹後リゾート公園、木津川右岸運動公園の凍結・中止を要求するなど、ムダをなくし、府民の暮らしを応援する府政への転換をと、ひきつづき全力をつくします。

今年、京都市長選挙、参議院選挙の年です。

京都市政を変えれば、府政を大きく変えることができます。また、参議院選挙で日本共産党が躍進すれば、府民の暮らしと平和を守る大きな力となります。京都市政の転換と参議院選挙での日本共産党の躍進に、大きなお力ぞえをいただきますよう、心からお願いたします。

新年あけまして  
おめでとうございます



日本共産党府会議員団

団長 松尾 孝

12名の府議団  
公約実現へ全力

くらし・営業

硫酸ピッチの規制

脱ムダづかい

## 京都府内の問題解決へ府政を動かす

### 府が硫酸ピッチ規制条例を制定

#### ——党府議団が一貫して要求

11月定例府議会では、不正軽油の製造過程でできる硫酸ピッチの生成・保管を禁止する条例を可決。硫酸ピッチを規制する条例は全国で初めてです。

これまで、党府議団は、京田辺市などの硫酸ピッ

チ不法投棄問題で、地元議員団と共同して現地調査を行い、府の厳正な対処を要求し、今回の条例提案につなげました。

### 借換融資、SARS対策、少人数学級

#### ——共同の力で一歩一歩と前進

提案された補正予算には、「中小企業あんしん借換融資」の3月末までの延長と融資枠の拡大や、SARS対策として、府立医大付属病院にSARS患者の入院設備を整備する予算などが盛り込まれました。

これは、党府議団が、中小業者や住民のみならずと力を合わせ、議会の論戦で要求してきたものです。

また、党府議団の追及にたいし、知事と教育長は、従来の少人数授業に加え、「少人数学級も選択して実施できるよう検討している」こと、そのため「市町村教育委員会と協議を進めている」ことを明らかにしました。

### イラク派兵容認の意見書を強行

自民・公明・新政会

自民・公明・新政会の知事与党は、「イラクへの自衛隊派兵」を容認する意見書を数の力でゴリ押し。

その一方で、13万をこえる府民から寄せられた「自衛隊のイラク派遣中止を」「子どもの医療費を通院も就学前まで無料に」「30人学級の実現を」などの請願を、民主と一緒に不採択にしてみました。

### 過大な水需要予測の畑川ダム建設中止、

#### 全面的な再検討を要求

「断層が発見され、事業費が40億円から大幅に(77億円に)膨らむ」ことが明らかになった畑川ダム(丹波町)。

党府議団は、丹波町・瑞穂町の実際の水需要から、ダムによる新たな水源確保の必要がないことを指摘。「畑川ダム建設はいったん中止し、代替案を含めて

抜本的に再検討をすべき」と迫りました。

○丹波・瑞穂両町の水源	現在	9,100トン
○両町の水利用実績	平均	4,500トン



**梅木 紀秀** 議員(左京区)

# 自衛隊のイラク派兵中止を！ ムダな公共事業ストップ、 府民の暮らし第一の府政を！

自衛隊のイラク派兵が強行されようとしている緊迫した中で、梅木紀秀議員は議員団を代表して質問に立ち、平和や暮らしなど切実な問題で知事の姿勢を厳しく問いました。

## イラク派兵

自衛隊のイラク派兵をただちに中止し、イラク特措法は廃止すべき

まず、イラクでの日本人外交官殺

害事件にふれ、「戦闘地域には自衛隊を送らない」というイラク特措法の前提条件が崩れている。「イラク派兵をただちに中止せよ。イラク特措法は廃止すべき。アメリカ主導の占領支配から国連中心の復興支援に」と主張。また、自衛隊員の恋人の投書などを紹介し、知事に「派兵中止を発言すべき時」と迫りましたが、知事は、反対を明らかにしませんでした。

### 【答弁】

イラクの実情を知りえる立場にはない。法の趣旨にそって、できる限りイラクの復興支援を人道的見地から行うべき。  
(知事)

## 介護保険

「これ以上の負担はできない」

保険料・利用料の減免制度実施を

「夫婦二人で一万九百七十円も負担増」という怒りの声や、「もうやっていけない」という深刻な実態を示し、京都市が政令指定都市の中で二番目に保険料が高いことも指摘し、減免制度の実施を求めました。

さらに、特別養護老人ホームへの入所待機者は、「いつになったら希望どおりに入れるのか」と迫り、「府の負担も増えている」と、府民の暮らしよりも府の財政負担を心配する決算特別委員会での知事答弁を強く批判しました。

## ムダな公共事業

ずさんな畑川ダム計画  
過大な水需要予測  
事業費は倍の77億円に

計画変更により事業費が二倍増になり、大問題になっている畑川ダムについて、「情報隠し」や計画の経過、過大な水需要予測を追及。計画中止を求め、再質問も行いました(「質問を終えて」に詳細)。

ところが、知事は「再評価委員会にかけた」指摘は当たらない」とまともに答えませんでした。

さらに、破綻すみの「丹後リゾート公園」見直し計画(七十五億円以上)を凍結し、丹後のよさを生かす観光振興を求め、木津川右岸運動公園については、これからの五十億円の用地買収の凍結を求めました。



12月2・3日

# 代表質問

**市町村の合併**

**強制合併でなく、  
小規模自治体へ「自立」  
の支援を**

小規模町村が生き残る道を探ろうという自治体が全国に広がり、長野では、県が小規模自治体支援プロジェクトチームで方策を研究し、「地域循環型経済」を実現していることなどを紹介。府には、このような支援こそ求められていると知事の姿勢を問いました。

ところが、知事は、支援はしているというだけでなく、府の役割を投げ捨て、日本共産党への攻撃もおこないました。

**教育問題**

三〇人学級実現では、知事の決断を迫り、「少人数学級も選択して実施」との答弁を引き出しました。

また、教育委員会の情報公開や南部の養護学校開設に府民の声を反映することを求めました。

**〔答弁〕**  
（高潮問題で）舞鶴市よりも前に出るべき、補助、補助という共産党の考えは、大変中央集権的。まさに地方自治の否定につながる。都道府県は、いかなる調整をするべきかという形から支援すべき。  
（知事）

梅木議員はさらに

消費税の増税反対、不況対策、住宅改修助成制度の創設、「公契約条例」で建設労働者の賃金保障、雇用の拡大、離職者支援資金の改善、府の情報公開、舞鶴の高潮対策など、切実な問題を取り上げました。

**質問を終えて**

本当に、畑川ダムが必要なのだろうか。本会議での私の質問に知事は、地元要望は15297㎡だが「人口増を見込まなくても、1万1700㎡の需要（下表①②③の合計）は確実」と答えた。現在、1日平均給水実績は4500㎡だ。「既存事業所の要望③」が3780㎡もあるのか。まったく知事は説明できなかった。「最大給水量の合計①」も机上で出した最大量で、現実には既存水源5485㎡で足りている。新規水源3615㎡を加えて9100㎡、1日給水実績の2倍の水源が確保されている。

77億円の畑川ダムは不要なのである。

〈梅木〉

**丹波・瑞穂両町の水需要予測**

①最大給水量の合計	7180㎡
②未給水世帯への給水	787㎡
③既存事業所の要望 （小計①+②+③）	11747㎡
④新規事業所の見込	945㎡
⑤人口増（1.5倍に）	2605㎡
合計	15297㎡

1日平均給水実績 4500㎡

a 既存水源	5485㎡
b 新規水源	3615㎡
（小計a+b）	9100㎡
畑川ダム計画	5000㎡

**府営住宅の  
生活環境確保を**

久守 一敏（伏見区）



11月議会は、府民不在の府政がより鮮明に浮き出された議会でした。府営住宅では、計量法による水道メーターの交換が行われましたが、交換後に本管での水漏れ事故が起り、メーター交換作業が中断されたままになっています。住民が暮らしていくために必要なガスや水道等のライフライン安全確保のための改善計画のない事ははっきりしてきました。

住民の生活環境確保のために、自治体が責任を持つ計画・実施が求められています。

府道や地方道の府管理道路の整備状況でも、改良率が約50%で、全国平均以下の40位程度と、80年から10位あまり落ち込んだままになっています。無駄な公共事業優先の土木行政をやめ、住民のくらしと生活を支える政治が必要です。



住宅改修助成などを求める11・19府市民大行動を激励



12月4・5日

# 一般質問

## 府内すべての学校で 少人数学級実施を

本庄 孝夫 議員(山科区)

本庄孝夫議員は、子どもたちをめぐる社会の道義的危機克服の重要性を指摘。子どもの自己肯定感情が深く傷つけられているなか、旧態依然



とした管理主義や子どもたちを抑え込むような学校運営を改め、子どもの意見表明や参加を重視する積極的な流れを推進させるべきと強調しました。

また、本庄議員は、今議会で教育長が「小学校中学年以上においては、少人数授業に加え、少人数学級も選択して実施」と答弁したことについて、「文部科学省の方針を受けての一步前進ではあるが、全国の実態や父母の願いに応えるものではない」と批判。山形県などの例も引き、「国の加配教員特例措置の条件緩和も活用し、府内すべての学校で少人数学級編成を決断すべき」と迫りました。

この他、学校五日制実施のもとの放課後・休日の障害児学童保育の充実、視覚重複障害者への支援などを取り上げました。

### 質問を終えて

小学校の特定教科の習熟度別「少人数授業」で、新幹線になぞらえて「こだま」「ひかり」「のぞみ」の能力別グループ編成—「もうええねん、どうせ俺はあかんねん」と、投げやりとなる子どもの傷つく姿を紹介し、劣等感や優越感を助長する習熟度別授業の弊害を指摘。府が7億8千万円もの税金を使って、先生の数を増やし少人数授業などをするのなら、まず学級規模を小さくする「少人数学級」の実現をと要望。

少人数学級は、どの教科も同じ教室・集団で学べ、落ち着いた教育環境で、学習効果もそれだけ高くなると、山形県の例を紹介。試算では、府内の1年生の「30人学級」は、91学級を増やせば実現可能。「機は熟している」—世論と運動で決着を。

〈本庄〉

## 貸しはがし・貸し渋りを防止し、 地域金融活性化へ金融一〇番設置を

原田 完 議員(中京区)

原田完議員は、金融問題、商店街・小売市場の振興対策、伝統産業・伝統工芸の振興発展などについて質問

しました。

依然として京都が厳しい金融情勢にあり、借換融資などの「対処療法」だけでは、厳しい経営環境を改善するまでに至らない。実態を示し、金融実態の調査と地域金融の支援強化、「金融一〇番」の設置などを要求しました。



答弁／年末の資金需要期を控えた中小企業への円滑な資金の供給にいつそう努めるよう、要請を行った。(知事)

新年を迎え、議員2年目の春に京都市長選挙と6月の参議院選挙勝利、要求実現への決意を新たにしています。

質問を終えて

本会議一般質問で、不良債権処理加速のもと、金融問題で金融110番の設置を要求、商店街・小売市場振興、大型店出店対策とまちづくり条例、世界に誇る京都の伝統産業・工芸の振興発展と西陣の織機更新時の支援、西高瀬川の親水公園、紙屋川の安全確保など、切実な要求をもとに知事に質問をいたしました。

知事及び理事者の答弁は、厳しい現状や府民の切実な願いに背を向けた答弁に終始していました。この答弁を聞いていて、日本共産党府会議員団が果たすべき役割、府民の切実な願いや要求実現への期待の大きさと責任の重要性を改めて実感いたしました。

〈原田〉

また、地域の活性化と住民の暮らしに大きな役割を果たしている商店街・小売市場の振興を強化し、安心して住み続けたいと思うまちづくり、地域の暮らしを丸ごと支える「まちづくり条例」の制定を求めました。さらに、京都経済の土台となつて

きた伝統産業・伝統工芸の現状を早急に把握すること、伝統技術を生きた状態で産業として伝承するための対策強化を要求しました。

地元の問題として、西高瀬川の親水公園問題と紙屋川の安全対策について取り上げ、地元住民の切実な要求の実現を求めました。

## 中山間地域、農山村を振興し、 中小企業への官公需発注の拡大を

新井 進 議員(北区)

新井進議員は、農山村が食糧の確保だけでなく、国土と自然環境を守るうえで重要な役割を果たしていることを強調。中山間地域等直接支払制度について、交付金の削減計画に反対し、知事が国に対して制度の継続を強く求めるように要求しました。

答弁／農地や森林は多面的な機能を発揮している。大変重要。(知事)  
制度の継続が不可欠で、国に強く要望している。(農林水産部長)

また、棚田や北山杉、里山のような景観の保全も対象にした府独自の助成制度の創設を求め、自治振興補助金の抜本的拡充、「農業・農村振興条例」の制定に向けて早急な具体化を求めました。

新井議員は、資本金などが弱小な企業が結束し、中小企業の官公需受注を拡大するための制度である官公需適格組合を正当に評価し、活用・育

成するための府の方針を明確にするよう要求。官公需適格組合協議会との具体的協議を進めるとともに、入札参加資格審査での特例制度を積極的に活用するよう求めました。



今回の論戦で、山田知事が「総務省の官僚」の立場にあることがはっきりしました。1万

質問を終えて

人以下の小規模自治体に「合併を勧告する」地方制度調査会の最終答申を「単にバリエーションを少し増やそうということ」と答えたことは、総務省が「小規模では基礎的自治体足り得ない」との考えのもとで進めている「押し付け合併」そのものの考えです。

さらに、住民の暮らしを守るための市町村支援の要求に「共産党のお考えは大変、中央集権的な考え」と答えましたが、この論では、「全国の府県が市町村支援をしているのは中央集権化をねらっているものでもいいのか」といわなければなりません。

結局、山田知事は、住民の暮らしを守るための市町村への支援は「やらない」ということです。山田知事のいう「改革」がどちらを向いているか、はっきりしてきました。

〈新井〉

# 意見書 討論

島田 敬子 議員  
(右京区)

十一月定例会には、日本共産党議員団提案の「イラクへの自衛隊派兵の中止を求める意見書案」「新たな雇用の創出を求める意見書案」「国庫補助負担金等の削減に反対する意見書案」「高速道路優先ではなく生活関連道路等の整備を求める意見書案」「私立学校助成の充実に関する意見書案」「私立学校助成の充実を求める決議案」の6意見書・決議案と、他会派提案の「新たな雇用を創出するための起業・創業環境の早急な整備を求める意見書案」「警察官の増員を求める意見書案」「地方財政制度の『三位一体改革』の推進に関する意見書案」「高速道路網の整備促進に関する意見書案」「道路整備の財源措置に関する意見書案」「イラク復興支援に関する意見書案」「イラクへの自衛隊派遣に反対する意見書案」の7意見書案が提案されました。(採決の結果は、12ページの一覧表をご覧ください。)

島田議員は、イラクへの自衛隊派兵は「国際社会の道理にてらしても、日本国憲法にてらしても、何の大義もない最悪の選択であり、断固中止すべき」「日本がなすべきことは、自衛隊の派兵ではなく、憲法9条を生かした外交努力であり、国



連主導の非軍事の人道復興支援」と主張。自民・公明・新政会の意見書案について、無茶なアメリカの戦争と占領支配を支持

してきた小泉内閣と、「スプーン一杯で二〇〇万人もの殺傷能力がある化学兵器や大量破壊兵器がある」などといった無茶な攻撃をおおってきた公明党の責任を厳しく批判しました。

## 討論を終えて

討論をかき消さんばかりに野次が飛びかう本会議場。人の命をなんと思っているのか、それでも人間か!!と叫びたくなる思いを抑えて、「イラク派兵は断固中止を!」と討論にたった。公明党は、米英軍のイラク攻撃や占領支配を国際法逸脱ではないとし、「戦争をしに行くのではなく、イラクの人々を助けに行くのだ」とのべた。クラスター爆弾や劣化ウラン弾など非人道的兵器を使って罪もない1万人ものイラクの人々を殺した米英を支持しつづけ、重装備の自衛隊を米英軍に合流させて、「人道的復興支援」とうそぶく。心から怒りを覚える。「スプーン1杯で200万人を殺す兵器を持っている」とおおった反省がないと指摘したら、「今まで、探してんにゃー」と公明党議員が野次っていた。

〈島田〉

## 府民のみなさんの声が まっすぐに通る府議会に

西脇 郁子(下京区)



9月議会終了直後の決算特別委員会、総選挙、特別委員会、今回の11月定例府議会とめまぐるしい日々が過ぎていきました。

大変な不況のもとで財政が大変なときだからこそ、税金の使い方がより厳しく問われるはずですが、どう考えても今すぐ必要だとは思えないリゾート開発やダム建設など億単位の追加予算は簡単につき、一方で、特養ホームや住宅改修助成、乳幼児医療費助成の拡充など、今すぐ必要な施策はあと回しになっています。

また、厚生労働常任委員会で、公明党が、府に対する重点予算要望の一つとして、乳幼児医療費助成制度の通院についても就学前まで無料化を求める要望を出しているながら、府民から出された請願には「理念が違う」の一言で否決してしまったことに心から怒りがわきました。

府民のみなさんの声がまっすぐ通る府議会にしているために、今年もがんばります。



西山とき子さんとともに参院選勝利へ

## 全国に先がけて、 硫酸ピッチ規制条例を実現

山内 佳子(南区)



危険な硫酸ピッチの不法投棄を1年以上放置していた京都府。地元の共産党市会議員団の長い間の運動とわが府会議員団の追及で、昨年12月16日には、京田辺の現場の行政代執行が行われました。また、全国に先がけて硫酸ピッチそのものの生成・保管を禁止する条例も提案され、全会一致で可決されました。

今年は申年です。人間は大昔、猿だったといひます。イラクへの自衛隊の派兵、消費税の増税など、平和と暮らしを破壊するものを、しっかり見る、住民の声を聞く、そして、皆さんの声を代弁して言う。「見る・聞く・言う」猿になって、平和を守る、暮らしを守るために、ご一緒にがんばります。

そして、いよいよ京都市長選挙!! 市政を転換し、歴史都市京都から世界に向けて平和を発信しようではありませんか!!

今年もよろしくお願ひします。



イラク派兵反対を訴える

# 議案 討論

加味根 史朗 議員  
(右京区)

議案討論にたった加味根議員は、冒頭、硫酸ピッチの規制条例について、わが党議員団が九月定例会で硫酸ピッチの不法投棄問題を現地調査を踏まえて質問してきたこと、条例の提案は、生活環境を守るよう求めてきた住民の願いに応えるものであることを指摘し、行政代執行を含む事態の早急な解決を改めて求めました。その上で、二〇〇二年度京都府一般会計および特別会計決算に反対であるとして、第一に、介護保険料・利用料の負担軽減、特別養護老人ホーム入所待機者の解消、私学助成の拡充、子どもの医療費無料化の拡充など、府民の切実な暮らしの願いに冷たく背を向けてきたことをきびしく指摘しました。

第二に、深刻な経済のもとで、府民の期待に応える不況・雇用対策が行われていないとして、深刻な青年の雇用対策に真剣にとりくむこと、あんしん借換融資制度等のいっそうの充実と住宅改修助成制度の実現を強く求めました。

第三に、府財政が大変きびしいもとで、公共事業のムダをただしていくことが府民の強い期待となっているにもかかわらず、大型公共事業のまともな見直しを行

っていないことを指摘し、過剰な水需要予測のもとに七十七億円もかける畑川ダム建設計画の中止をはじめ、丹後リゾート公園、木津川右岸運動公園、学研都市開発などの凍結・見直しを求めました。

また、水道事業会計決算について、乙訓二市一町の水道料金値上げが深刻になっており、企業による府営水の使用増の効果も現れていないため反対であると表明し、住民の負担軽減措置を引き続き行うよう要求。

舞鶴和田ふ頭建設請負契約案件について、計画が過大な見込みにもとづくものであり、不要不急の予算は、舞鶴を含む北部の産業振興に振り向けるべきと主張しました。

最後に、小規模市町村を切り捨てる地方制度調査会の最終答申について、これに反対する緊急決議を採択した全国町村長会の思いを正しくうけとめるよう求めました。



## 子どもたちの安全を守る学校を 宇治小学校の事件で調査・要望

前窪 義由紀 (宇治市・久世郡)



宇治小学校の教室に乱入した男が刃物で児童2人にケガを負わせた事件で、私は12月25日、西山とき子参院議員、宇治市議らと宇治市教育委員会、宇治小学校、宇治久世教組を訪問しました。

教育長、学校長など関係者にお見舞いをのべるとともに「再発防止にむけて、本当に必要なことは何か、お互いに考えたい」と述べ、意見交換しました。

そのことをふまえて、12月26日、党府議団として、知事・府教育委員会に「子どもたちの心のケア、学校と教職員を支援するための対応を引き続き強める」「再発防止のために必要な人員の配置」「保護者や地域の自主的な活動への支援」など、子どもたちのいのちと安全を守る学校をつくるため、緊急要望を行いました。



宇治小事件で現場を調査し、府に申し入れ

## 時代おくれの 「理由なき反対」にあきれる

光永 敦彦 (左京区)



憤りを超えて、あきれました。

厚生労働常任委員会に付託された「子どもの医療費を通院も小学校入学まで無料に」という請願の審議です。

わが党以外は反対。ちょうど公明党議員団が、知事に提出した来年度予算要望に、「乳幼児医療費助成制度は…通院についても対象を未就学時まで引き上げること」と明記していました。

そこで、私が要望を読み上げ、「公明党の要望と請願の趣旨はまったく同じ。なぜ反対なのか」と迫りました。

公明党議員は一言も述べることができず。自民党議員は「8,000円を示したことで安心感を生んだ」と述べました。

これまで、世論に押されて自民党ですら「実施の状況を見て」などと言ってきたにもかかわらず、です。



保健所支所の設置を求める請願をうけとる

# 知事総括質疑

質疑で、松尾孝党議員団長がムダな公共事業を  
保険の問題で、山田啓二知事をただしました。

加味根府議は、「府雇用創出・就業支援計画」での前年度の青年雇用の実績を府が把握していない事実を指摘。実態把握すらせずに対策を打っていると言えるのかと追及しました。知事は実態把握ができていないとの指摘に反論できず、「(同計画は)青年、熟年がどうという話ではない」「青年雇用対策は「十分やっている」などと答弁しました。

加味根府議は、さらに、四年前と比較すると、京都の大企業全体で高校卒業者の就職者数がほぼ半減しているなど、京都の青年雇用の実態を示し、「十分やっている、こういう結果では、府民は納得できない」とき



加味根 史朗 議員(右京区)

## 青年の雇用拡大を 大企業に強く働きかけよ

びしく追及し、新規採用の規模拡大を経済界や大企業に働きかけるよう求めました。

## 介護保険料減免の助成制度、 特別養護老人ホームの整備 促進を要求

介護保険の問題では、府の利用者アンケートでも「負担が重い」と感じている人が52・9%にのぼっていること、さらに十月の年金給付通知で「こんなに年金が減っているのか」と改めてびっくりしたというお年寄りが急増していることも紹介し、市町村が独自に負担軽減に努力している取り組みにこたえるために、府が保険料減免への助成制度を創設するよう求めました。

### 質問を終えて

一問一答方式の決算総括質疑も、テレビ中継も初めてで、少し緊張しましたが、山田知事への質問を気持ちよく行うことができました。

青年雇用の問題では、青年のフリーターが417万人にも急増していることは日本社会の発展を阻害する重大問題であり、その原因は「企業の側に主な要因がある」ことを、政府の「国民生活白書」を引用して明らかにしました。

すると知事は、白書の概要版を持ち出してきて、「企業の要因はどちらかといえばという程度だ」と反論してきました。私は、白書の原本を示し、「白書の結論部分を見れば、企業の側に主要な原因があるとはっきり書いている。ちゃんと結論を読まないダメですよ」とたしなめたのです。

この時は、議場は大きく盛り上がり、後で同僚議員から「一本取ったね」「あそこが面白かった」と感想をいただきました。

〈加味根〉



さらに、府内で三千六百四十人(京都市分を含む)が待機している特別養護老人ホームの整備の遅れをきびしく指摘し、促進を要求しました。

知事は「都道府県は市町村の援助団体ではない」と答え、府の役割を投げすて、府民の切実な願いに冷たく背を向ける答弁に終始しました。

# 決算特別委員会

11月18日、京都府議会決算特別委員会の総括見直す問題、加味根史朗府議が青年雇用と介護



**松尾 孝** 議員(伏見区)

## 畑川ダムの建設計画を見直せ ムダな事業ただす

松尾孝府議は、公共事業のムダを見直すよう、山田知事にきびしく迫りました。

丹波町に計画中の畑川ダムは、決算特別委員会の書面審査で断層発見による計画変更が明らかになり、事業費が当初の四十億円から七十七億円と約二倍になることが判明。地元負担が増加し、丹波・瑞穂両町では、町民一人当たりの負担は五十万円にものぼると見られています。

松尾府議は、丹波・瑞穂両町でのアンケート結果から、府の水需要予測が過大であることを示して、畑川ダム建設の抜本的見直しを要求。未給水地域には、ムダなダム建設でな

く、府の責任で、給水の確保をすべきたと追及しましたが、知事は「地域の要望」と繰り返し、ムダなダム建設に固執しました。

## リゾート公園計画は凍結し、 府民に必要な道路整備を急げ

丹後リゾート公園から名前を変えた「丹後海と星の見える丘公園」の整備（七十五億円以上）について、

「自然・環境を学ぶためと言うなら、丹後全体が生きた学びの場だ」と指摘。ムダな同事業は凍結し、北部の観光開発や利便向

上に直結し、住民の強い願いである伊根養老バイパス、府中バイパス、蒲入トンネルなどの早期完成に力を注ぐべきだと指摘しました。

### 質問を終えて

「畑川ダム」は本当に必要か。知事は「7000区画もの造成宅地が、水がないため家が建たない」と言い続けて来ましたが、町の調査でも居住希望者はせいぜい500～600人。また、企業の要求についても具体的に示せませんでした。

「既存水源と新規水源9100トンで足りる。ダム必要性の根拠は崩れている」との私の指摘に、「地域の悲願、長年の要望」と繰り返すだけでした。

丹後の大規模公園（宮津市波見、120ha）についても、「凍結・中止すべき」との指摘に「丹後に厳しい。冷たい」などと筋違いの答弁でした。

知事の姿勢は「まずはダムありき」「一旦決めた計画は変えられない」というもので、「ムダをはぶき、福祉や医療の充実を」という府民の願いには程遠いものでした。

〈松尾〉

畑川ダム完成予定図(京都府のパンフより)

## 11月定例府議会に提出された請願、意見書案・決議案

請願名	請願者名	紹介議員派	審査結果	共産	自民	民主	公明	新政
自衛隊のイラク派遣の計画中止に関する請願（23件）	安保破棄実行委員会、京都平和委員会ほか	日本共産党	不採択	○	×	×	×	×
府民の健康と安心・安全な暮らしのため、保健所支所の設置を求めることに関する請願（4件）	京都府保険医協会、京都の保健所・公衆衛生を充実させる会ほか	日本共産党	不採択	○	×	×	×	×
乳幼児医療費助成制度の通院も就学前まで無料にすることに関する請願	新日本婦人の会京都府本部代表ほか3911人	日本共産党	不採択	○	×	×	×	×
乳幼児医療費助成制度の就学前までの完全実施に関する請願	乳幼児医療費無料制度を国と自治体に求める京都ネットワーク代表ほか40人	日本共産党	不採択	○	×	×	×	×
障害児に多様な進路保障を求めることに関する請願	京都障害児・者の生活と教育を豊かにする会代表ほか19353人	日本共産党	不採択	○	×	×	×	×
向日が丘養護学校の指導体制充実にする請願	京都障害児・者の生活と教育を豊かにする会・向日が丘豊かにする会代表ほか7407人	日本共産党	不採択	○	×	×	×	×
京都府立丹波養護学校の指導体制充実にする請願	京都障害児・者の生活と教育を豊かにする会・丹波豊かにする会代表ほか3854人	日本共産党	不採択	○	×	×	×	×
すべての子どもたちにゆきとどいた教育をすすめる、心のかよいあう学校をつくることに関する請願	子どもと教育・文化を守る京都府民会議代表ほか101113人	日本共産党	不採択	○	×	×	×	×
養護学校の正式採用者増に関する請願	京都府立高等学校教職員組合代表ほか1421人	日本共産党	不採択	○	×	×	×	×

意見書・決議案名	提案者名	採決の結果	共産	自民	民主	公明	新政
新たな雇用を創出するための起業・創業環境の早急な整備を求める意見書案	自民、民主、公明、新政会	可決	○	○	○	○	○
警察官の増員を求める意見書案	自民、民主、公明、新政会	可決	○	○	○	○	○
地方税財政制度の「三位一体改革」の推進に関する意見書案	自民、民主、公明、新政会	可決	×	○	○	○	○
高速道路網の整備促進に関する意見書案	自民、民主、公明、新政会	可決	×	○	○	○	○
道路整備の財源措置に関する意見書案	自民、民主、公明、新政会	可決	×	○	○	○	○
イラク復興支援に関する意見書案	自民、公明、新政会	可決	×	○	×	○	○
イラクへの自衛隊派遣に反対する意見書案	民主・府民連合	否決	×	×	○	×	×
イラクへの自衛隊派兵の中止を求める意見書案	日本共産党	否決	○	×	×	×	×
新たな雇用の創出を求める意見書案	日本共産党	否決	○	×	×	×	×
国庫補助負担金等の削減に反対する意見書案	日本共産党	否決	○	×	×	×	×
高速道路優先ではなく生活関連道路等の整備を求める意見書案	日本共産党	否決	○	×	×	×	×
私立学校助成の充実にする意見書案	日本共産党	否決	○	×	×	×	×
私立学校助成の充実にする決議案	日本共産党	否決	○	×	×	×	×



11月～12月

詳しくはホームページ  
<http://www.jcp-kyotofukai.gr.jp/>

- ◆宇治小事件で、現場の調査をふまえ、知事と教育委員会に「緊急要望書」(12/26)
- ◆府内3会場で11月定例府議会報告・要求懇談会を開催(12/19)
- ◆11月定例府議会を終えての団長談話を発表(12/15)
- ◆自民・公明・新政会の「自衛隊派兵容認」意見書強行を糾弾する談話を発表(12/13)
- ◆加味根史朗議員が、最終本会議で「議案に対する討論」(12/12)
- ◆島田敬子議員が、最終本会議で「意見書案・決議案についての討論」(12/12)
- ◆新井進議員が、農山村・中山間地域の振興対策、中小企業への官公需発注について質問(12/5)
- ◆原田完議員が質問に立ち、金融対策、商店街振興などを求める(12/5)
- ◆本庄孝夫議員が質問に立ち、少人数学級の実現を迫る(12/4)
- ◆梅木紀秀議員が代表質問に立ち、府民の立場から論戦を展開(12/3)
- ◆11月定例府議会が開会 会期は12月12日までの16日間(11/27)
- ◆党議員団として、2004年度京都府予算に関する申し入れ(11/27)
- ◆「民主市政の会」が事務所開き 広原市長実現へ決意(11/22)
- ◆11・19府市民総行動の一環として府庁東門で早朝宣伝(11/19)
- ◆加味根史朗議員、松尾孝議員が決算特別委・知事総括質疑で質問(11/18)
- ◆決算特別委員会が11日から再開 知事総括質疑は18日(11/4)

